

RAAT Bangsaen Endurance By TOYOTA



東 徹次郎
TOHJIRO AZUMA

初の海外チームで初の市街地レース！！

悔しいレース結果もこれを次のステップへ！！

- ・開催サーキット： Bangsaen Street Circuit (3.700km)
- ・チーム： 33AUTO
- ・マシン： TOYOTA Yaris
- ・メンテナンス： 33AUTO
- ・カーナンバー： #33
- ・クラス： DIVISION1-1500
- ・ドライバー： A EARTH B ARM C **TOHJIRO AZUMA**



Free Practice (12月10日)

◆Weather : 晴れ ◆Course : ドライ

初の市街地コース、前もって移動のタクシーでコースを2周下見はしましたが、僅か20分しか無いプラクティスでまずはコースをしっかりと覚えることを最重要項目に考えていました。

プラクティスはEARTH選手と自分だけでしたので、まずはカメラの映像やロガーのデータも欲しかったので、毎年走っているEARTH選手に走ってもらい途中で交代しました。

残り時間10分弱でコースへ。

1周目は本当にコースがどういうレイアウトなのかを確認しつつ、市街地特有の路面のギャップやうねりを確認しながらの走行となります。

途中の仮設シケインなんかは下見のときとは違って更にバリアの上に矢印看板も増えていたので、イメージよりも更に入口が見えなくなっていて進入してからも狭く感じました。



後半の海沿いも常に壁が近いのですが、何よりロケーションもキレイなので、本当に走っていて楽しいコースでした。

最初の1周で難しく感じたポイントは、山側のヘアピン前がブレーキング開始ポイント辺りで一気に下るので、その傾斜の処理の仕方とこのシケインです。

2周目は少しコーナリングスピードを上げて徐々にペースを上げていきます。そして3周目は更にコーナーをトライし始めて普通ならタイムも上がるころなのにタイムが伸びません。

3周目走行中にエンジンのパワーが若干落ちたかなと感じていたら、やはり後でロガーで確認したところトップスピードが10km/h落ちていました。

そして4周目に入るときには、遂に5速に入っていたところで5速に入るスピードまで達しなくなり、低速からのレスポンスが悪くなってエンジンにバラつきが出始めたので、まだ貴重な走行時間は残っていましたがピットへ戻らざる得なくなってしまいました。

原因はコンピュータセッティングがちゃんと出ておらず、燃調が合っていない感じでした。

この対処に結局予選直前までかかりました。



Qualify (12月11日)

◆Weather : 晴れ ◆Course : ドライ

自分は前日のプラクティスでトラブルもあって思うように走れていなかった
ので、予選も20分のみですし時間が短いので走り慣れていてスピードもある弟
の EARTH 選手が担当しました。

一応、上手くトラフィックにひっかからず早めにタイムが出れば、すぐ帰って
きて残り時間を自分が交代して走るという作戦でまとまりました。

ヤリス勢ではトップタイムで好タイムは出たものの、やはりトラフィックも
あってタイムを出すのに時間を要してしまい、自分に乗り換えて出ようとした
ら時間切れでオフィシャルに止められてしまい、コースイン出来ませんでした。

予選結果 : クラス 14 位

ベストタイム : 2'10.985



SUPER SERIES
 THAILAND SPEED FESTIVAL
 Bangsaeen Thailand Speed Festival 2014
 AAT Bangsaeen Endurance by TOYOTA
 Qualify by TOYOTA 1
 Qualifying started at 8:59:55
 Bangsaeen Street Circuit 3.700 km
 11/12/2557 09:00
 Sorted on

Pos	No.	Name	Class	Best Tm
1	54	อากาศร / สุพจน์	DIVISION 1-2000	2:00.272
2	87	ภาสฤทธิ์ / นัทรพร	DIVISION 1-1500	2:02.469
3	38	มานัต / Masahiro / Naoya	DIVISION 1-1600	2:03.021
4	39	ฮนสิทธิ์ / Hideharu / ฮัญชนก	DIVISION 1-1500	2:03.592
5	58	Chen / ณัฐพงษ์	DIVISION 1-1600	2:04.754
6	4	ขจรศักดิ์ / ณัฐวุฒิ / ประพจน์	DIVISION 1-1500	2:05.610
7	19	สุทธิพงษ์ / ณัฐวุฒิ	DIVISION 1-2000	2:06.698
8	32	ภิษณุ / จารุวัตร / ธนา	DIVISION 1-2000	2:07.525
9	36	ณัฐจักร / วิจิษณ์ / กรณ์	DIVISION 1-1500	2:08.053
10	50	Naoki / Kentaro / ชยพล	DIVISION 1-1500	2:08.950
11	69	พัฒนวิช / วิศรุต / มั่นคง	DIVISION 1-1500	2:09.533
12	6	นภัทร / รุดอล์ฟ / ยูมาร์	DIVISION 1-1500	2:10.115
13	45	กันตศักดิ์ / กันตธีร์	DIVISION 1-1500	2:10.153
14	33	ชนุชา / ชนินทร์ชา / TAKASHI	DIVISION 1-1500	2:10.985
15	1	บุญฤทธิ์ / วีระศักดิ์ / Chua	DIVISION 1-1500	2:11.102
16	12	PAUL / อวีโรจน์ / ธนพล	DIVISION 1-1500	2:12.236
17	88	รัฐธินันท์ / อภิรัชต์	DIVISION 1-1400	2:15.548
18	95	ประทีป / พงศ์เฝ้า / ธิภพ	DIVISION 1-1500	2:16.397
19	77	YOSHIAKI / ONTA / TARO	DIVISION 1-1500	2:16.418
20	78	ยศ / AOKI	DIVISION 1-1500	2:22.432
21	15	ธนาวินัย / สิริศักดิ์ / รุ่งรว	DIVISION 1-1500	
classified				2:03.384
DQ	44	วรุฒ / เดวิช / สมบูรณ์	DIVISION 1-2000	

※このときはまだ向こうのミスで名前が TAKASHI になっています。

RACE (12月12日)

◆Weather : 晴れ ◆Course : ドライ

決勝は EARTH 選手、ARM 選手、自分という順番でいくことになりました。長い6時間をいうこともあり、スタート前に日本での経験から二人にシフト操作を丁寧にしてミッションを壊さないようにいこう、そして極力縁石をハードに攻めないようにして足回りを労わりながらいこうと伝えました。



このレースのレギュレーションで1スティント当たり45分以内に交代しないとイケないので、40分経ったらピットインする決め事にしていました。

14番手から無事にスタートし予選以上のペースで走れている EARTH 選手、まずは順調かと思われた矢先、早々にピットへ戻ってきました。

まだスタートして20分くらいの出来事です・・・。

原因はインジェクションが緩んだことによるパワーダウンとのことなのですが、そこを対処しても今度はバッテリーが弱くてエンジンがかからずバッテリーの交換作業へ。

そしてバッテリー問題が解消したと思いきやアイドリングが安定しません。

すると今度はエンジンのヘッドを開けて作業しているのです。
何かと思ったら、カムシャフトが折れていました・・・。



カムシャフト交換後、ARM 選手に交代してコースへ復帰します。
しかしながら修復まで1時間以上ピットに留まっていた。
復帰後は順調に走行していて、30分を過ぎたので自分も交代に向けて準備万端
でスタンバイしていたら突然のストップとの情報が。
エンジンブローでした・・・。
結局、交代出来ず決勝を走る前にリタイアとなってしまいました。

最後に

今回決勝を走ることは出来ませんでしたが、このようなチャンスを与えてくださったチーム、そしてそれに向けて応援してくださったスポンサー様やファンの皆様に本当に感謝したいと思います。

今回は初の海外チームということで、コミュニケーションも英語でのやりとりで本当に勉強になりましたし、チームの中での自分のポジションをどう作っていくかなど本当に良い経験になりました。

また、市街地コースも初の経験ですし、練習の3ラップのみというのが残念ですが、その中でも集中して走ることは出来ました。

今回乗れなかったことで、逆に来年のタイのレースに繋がりそうでもあるので、しっかりと今後に繋げていきたいと思っています。

そしてまた来年、このバンセンにも挑戦していきたいと思っています。

ここからはオフシーズンではありますが来年に向けての大事な時期であり、最も過酷な時期でもあります。

来年の為にも、まずはこの数ヶ月全力で頑張ります。

どうぞ、今後とも御支援御声援の程、宜しくお願い致します。

2014年12月18日

東 徹次郎

